

平成28年度 生活介護事業所第2みらい  
事業報告

## 【概況】

平成27年度に受審した「第三者評価」においては、評価調査者から事業所の運営管理や福祉サービスの提供のあり方などについて多様な角度から助言や指導頂きました。なかでも「福祉人材の確保・育成」「利用者の満足度」「福祉サービスに関する質の確保」などが改善を求められる点として指摘されています。

今年度、「人材の確保・育成」については、利用者支援に偏っていた研修の内容を改善し、多方面の研修の機会の確保に努めました。

また、法人の「中・長期計画」の中で実施項目になっている「虐待防止委員会」を立ち上げ、課題点についての洗い出しを行なっているところです。

また、訪問歯科診療を5月より実施しています。利用者の中には環境・場所の変化を受け入れにくいことや見通し・意思疎通の困難さから歯科受診を現在までに受けたことがない方も多く、ご家族のニーズもあり、虫歯予防・歯周病予防と専門的なケアの実施により、健康管理と共に情緒の安定を目的に取り組んでまいりました。当初は口を開けることも困難な利用者もおられましたが、徐々に慣れてこられ、介助者のケア技術も上昇し、現在は家庭でも歯磨きができるまでに至っています。

体制面では2.5：1の体制を維持し、後期より管理者が兼務していたサビ管業務を2名新たに配置。ほぼ安定して体制を維持できました。

1. 利用者の状況は、当初49名でスタートし、5月・11月末に入所施設への退所者が2名、転居者が1名、入院に伴う退所者が1名生じ、現在45名となっています。

出席率は91.6%（昨年93.2%）となっており、当初予測より3.4%程度低くなっています。これは長期入院の利用者が生じたことによるものです。

2. 作業支援については自主製品である雑巾の受注が約20万円あり、前年度より7万円増加しました。しかし利用者工賃の実績については利用者1人当たりの平均工賃月額、1,591円で、前年度比57円の減となっています。

3. 生活支援面では、グループホーム利用者が19名（42%）と多く、また、ご家族の介護負担などにより、日中一時利用、特別送迎も依然ニーズが高い状況にあり、日中活動以外の中身にも柔軟な対応が求められています。

平均障害支援区分が高い（5.09）利用者支援に加え、高齢化への支援、ご家族支援と支援内容は多岐に亘っているのが現状です。

以上が概略ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

1. 利用者の状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(1) 在籍状況 男性 30人 女性 15人 合計 45人  
 (平均年齢) 男性 39.33歳 女性 42.2歳 全体 40.3歳

(2) 推移状況 (各月初値) 563/552 年間在籍者数 101% (人) 出席率 91.6% (人)  
 \*平均年齢 39歳 1ヶ月 (22歳から 61歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	32	32	32	31	31	31	31	31	31	31	30	30	373
女性	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	190
合計	49	49	48	47	47	47	47	47	46	46	45	45	563

\*利用者の異動

女性 2名 他入所施設へ移行 (5・11月末)

男性 2名 転居・入院による (6・1月末)

(3) 障害程度

①療育手帳 (人)

②身体障害者手帳 (重複) (人)

程度	男性	女性	合計
A	30	14	44
B1	0	1	1
B2	0	0	0
合計	30	15	45

程度	男性	女性	合計	部 位
1級	1		1	肢体、内部
2級	1	1	2	肢体、平衡機能
3級	2		2	内部、言語等
4級	5	4	9	言語・そしゃく
合計	9	5	14	

③障害支援区分 (平均障害支援区分 5.09)

程 度	男 性	女 性	合 計
3	0	1	1
4	4	4	8
5	17	5	22
6	9	5	14
合 計	30	15	45

## 2. 日課・週間プログラム

### 【日課】

午前		午後	
9:00～10:00	登所(時差)	13:30～14:20	作業
10:00～10:30	朝の会・体操・更衣等	14:20～15:00	掃除
10:30～12:00	作業	15:00～15:15	休憩
12:05～13:20	昼食・休憩	15:15～15:35	終わりの会
		15:45～	降所(時差)

\*グループにより時間に若干の差異があります。

### 【週間プログラム】一例(個人により作業時間等プログラムは異なる)

	月	火	水	木	金	土・日
午前	屋外活動	作業 陶芸	作業 公園清掃	作業 音楽療法	作業 織り	余暇支援 休み
午後	作業 ウォーキング	文化クラブ	作業 ウォーキング	作業 機能向上プログラム	クラブ活動	余暇支援 休み

## 3. 職員体制

(1) 職員体制 常勤職員： 管理者(1) サービス管理責任者(2)  
生活支援員(9)

非常勤職員： 支援員補助(10) 医師(1)  
看護師(1) 作業療法士(1) 事務職員(1)

業者委託： 送迎運転手(5)・送迎添乗員(2)  
調理師(1)・調理員(2)

#### 4. 建物・設備維持管理

{定期}

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備		18						8				
害虫駆除	14		16		18		13		15		18	
E V			17			27			13			28
自動扉	20			20			19			18		
消防設備			15						1			
電気		16		8		7		11		13		10
定期清掃				30							25	

\*表中の数字は、実施日

【その他】

- 7月 2日 食堂クーラー水漏れ修理
- 7月 7日 厨房ガス元栓取替え工事
- 7月 8日 2F 系統空調機部品取替え修繕工事
- 7月 30日 貯・受水槽清掃作業
- 各階トイレウォシュレット取替え工事
- 2F トイレ水漏れ工事
- 3F 身障者トイレ手洗器修理
- 8月 2日 飲料水水質検査
- 8月 10日 1F 系統空調機部品取替え修繕工事

\*設備管理業者：株式会社ファシテック広洋

#### 5. 車両管理・送迎管理等

【車両管理等】

	キャラバン	ステップ	赤ステップ	青ステップ	ハイゼット
6ヶ月点検	28年 7月	28年10月	28年 8月	28年 8月	29年 1月
定期点検	29年 2月	29年 2月		29年 2月	
車検			29年 1月		28年 7月

【修繕等】

- 8月 5日 赤ステップ：タイヤ交換
- 11月 22日 赤ステップ：リヤブレーキパット交換
- 2月 2日 キャラバン：ルームミラー交換
- 2月 10日 青ステップ：タイヤ交換
- 2月 18日 キャラバン：タイヤ・バッテリー交換他

## 【車両事故】

- ① 4月8日 **ステップ**：活動出発時、施設より出ようとしたところ、反対側に気をとられ、施設看板に左側部が接触
- ② 12月13日 **青ステップ**：送迎中、渋滞のため抜け道を活用したところ行き止まりとなり、転回の際後方確認不足のため電柱に接触

\*上記2件は、いずれも運転手の不注意によるもので、運転手への厳重注意ならびに、他の職員には事故報告書を供覧するとともに全職員を対象としての安全運転講習会を実施した。また、送迎ルートについてはマニュアルに則り、変更を行わず、連絡体制の確認を再度周知徹底した。

## 【送迎管理】

### (1) 通常送迎

マイクロバス（23人乗り）：市内循環（豊中南北部）・朝夕各1便

\***株**ジャパン・リリーフへ車両管理請負業務として委託

キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部）（朝2便、夕1便）

青ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中北部）朝夕各1便

赤ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中西部）・（豊中東部）朝夕各2便

ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中西部）朝夕各1便

\*添乗業務については車中の状態把握のため支援員が各車両行った。

\*行事の際には特別ルート及び時刻表に基づき運行した。その他、諸事情による乗降場所の変更などにも柔軟に対応を行った。

### (2) 特別送迎・（ショート送迎）

通常送迎とは異なり、歯科の通院などが対象

利用延べ回数 177回（前年比 82%）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
歯科送迎他	20	13	17	11	14	14	16	12	13	15	16	16
ショート利用回数	44	50	52	51	54	86	107	105	69	64	62	75
合計	64	63	69	62	68	100	123	117	82	79	78	91

前年度と比較し、歯科送迎については「すまいる」の訪問歯科診療の利用に伴い、利用回数が減少（前年度比82%、利用回数37回減）、利用者の定期的な口腔ケアが可能となり、口腔内衛生に結びついています。

ショート送迎（通常送迎）についてはグループホーム利用者が約4割超であるが、緊急時の利用のニーズは高く、横ばい(835→819、98%・月平均送迎回数68回)で推移し、介護者の高齢化及び利用者の将来生活についての不安が非常に高いことを示しています。

## 6. 年行事等

月. 日	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項等
4. 21	班行事(3階)	万博公園	17	
37	班行事(2階)	鶴見緑地公園	28	
5. 19	味覚狩り	川西イチゴ狩り	46	
5. 28	選択余暇(土)	映画	13	
6. 8	グループ行事	鶴見緑地公園	5	
15		エキスポシティ	7	
22		グランフロント大阪	6	
25		キッズプラザ	8	
28		サイエンススクエア	10	
30		ニフレル	8	
7. 23	素のままフェスタ	アクア文化ホール	39	
8. 5~20	納涼祭	多目的室	46	各Gで実施
9. 1~2	一泊旅行	神戸しあわせの村	44	
9. 25	啓発イベント	福祉会館	36	※内容変更
10. 7	第10回合同運動会	豊島体育館	44	
10. 29	選択余暇(土)	バーベキュー	16	六甲山牧場他
11. 5	選択余暇(土)	阪急電車の旅	5	スタンプラリー
11. 19	農業祭	豊島公園	39	
12. 3	選択余暇(土)	ボウリング	9	ラウンドワン
12. 22	クリスマス会	第2みらい・いぶき	45	
1. 5~20	初詣	第2みらい・いぶき	44	各Gで実施
3. 3	文化祭	第2みらい・いぶき	43	
3. 24~31	慰労会	多目的室	44	各Gで実施

日々の活動に変化をもたせ季節の行事を企画・実行しました。余暇支援では豊中市の啓発イベント等に参加し交流を深めました。また、地域交流が深まっている実情を鑑み、「みどりの交流会」が後援している地域交流行事（農業祭）に参加しています。選択余暇では選択により少人数で休日を楽しみました。内

容は5つの中から自己選択・決定の機会を持ったため、日頃のグループメンバー以外での活動となり、自主性を尊重する意味でも意義のある企画であるため、随時見直しをしながら実施していきたいと考えます。

## 7. 余暇活動等

### (1) 開催内容

#### 金曜活動（3種目）

- ・ リズム体操：月2回、講師：辻村恵美子
- ・ 茶道：月2回、講師：関口佳子
- ・ 華道：月2回、講師：高橋美智代

#### その他の活動

- ・ 音楽療法：月1回(第3木)、講師：佐藤信子

### (2) 障害者青年教室の活用

豊中市教育委員会の補助制度を活用。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ることが目的。1講座3千円を補助。

補助対象2活動実績	陶芸作業	39回180人、
	リズム体操	23回391人

## 8. 健康管理・給食

### [健康管理]

- ・ 健康相談：月2回、希望者が嘱託医へ相談。ご家族同席2名が受診。その他毎月5名の利用者が受診。相談を受けた内容は連絡帳を通して、家族に報告。
- ・ 健康診断：6月に山口記念診療所で利用者43名が受診。希望に応じて聴力・視力の検査も併せて実施した。
- ・ 予防接種：10～11月に山口記念診療所にて39名が受診。
- ・ 訪問歯科診療：委託業者（すまいる）  
歯科医師1名、歯科衛生士3～4名  
毎月（水曜日午後）4回実施  
24名の方が受診されました。（延べ832名）

### [給食]

- ・ 委託業者：コンペ方式による業者選考の結果、ナフス(株)へ給食調理業務を委託
- ・ 給食会議：月1回、委託業者・管理栄養士・法人職員が参加し、毎月の

献立について検食簿に基づき意見の交換と確認を行いました。

- ・嗜好調査：年2回実施(8月及び1月)

調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するように努めました。

## 9. 防災

回	月・日	内 容	参加人数	備 考
1	7. 27	避難訓練(総合)	70人	消火器・DVD鑑賞
2	1. 25	避難誘導訓練(火災)	70人	通報・避難誘導訓練
3	3. 30	避難誘導訓練(地震)	24人	連絡網使用

- ・非常災害対策として火災・地震を想定した避難訓練を行った。特に総合訓練では施設における避難訓練の位置づけだけでなく、職員へは火災を想定できるようにDVD鑑賞(施設での避難誘導)運搬の講習・消火器訓練を行い、危機管理意識の向上に努めました。

表彰…平成25年3月7日 豊中市南消防署長より自衛消防隊活動表彰

平成29年3月7日 豊中市消防局長より自衛消防隊活動表彰

## 10. 活動支援の取組み

第2みらいの運営方針、支援方針に基づき28年度の支援を次の通り行いました。

- ①個別支援計画を基に日常生活上必要な介護、支援、相談、助言を支援の中心においた。スケジュールについては自己選択の機会として面談時に個別で目的を共有し、活動内容を実施しました。
- ②障害特性、ニーズに基づいた小グループ化(8グループ)を図り、より個々に適したプログラムを提供できるように環境整備に取り組み、情緒面の安定に繋がってきました。
- ③作業療法士の訪問回数を増加し、身体機能の低下を防ぎ、運動機能の維持・向上に努めるためのプログラムの充実を目的に機能訓練を行いました。

### (1) 作業支援

個別支援計画に基づき生活支援に主眼を置いているが、利用者のエンパワメントを高める観点から、利用者が興味のある好きな作業工程を模索し、今年度も新規の取引先を開拓(1社)しました。作業工程が多数あり、色も違う為、分担化により多くの利用者が作業に取り組んでいます。収入は自主製品である雑巾の受注(18万円)があり、増収となっています。(前年比107%・予算比112%)

#### 屋内作業

「NS 商会」ピルケースの梱包作業

「ヒノモト商会」ねじ部品の袋詰め

「豊中市障害福祉課」刻印作業

「新谷製作所」バリ取り

年間約 26 万（前年度比±0）

#### 屋外作業

公園清掃・散水業務（豊中市から委託）・散水業務農園、アルミ

缶回収・つぶし、納品、洗車

年間約 72 万（前年度比▲5 万）

#### 自主製品

陶芸品、ミシン作業他 25 万（前年度比+12 万）

#### 全体

作業収入 約 122 万（昨年比 107%）

（内訳アルミ缶収入 27% 刻印 9% その他軽作業 28%）

## （2）生活支援

自立に向けた日常生活のスキルの向上を図る

グループホームから通所される方が 19 名、約 42%、居住の場との連携をとりつつ、自立を促す支援を心がけました。特に排便・入浴の状態把握に努め、家庭・ホームとの連絡ノートを通じて体調・衛生面の把握や維持に努めました。

#### 入浴サービス

介護者の高齢化に伴う介護負担の軽減及び利用者のニーズの高揚のため、週 2 回・1 回 3 人を限度に私的契約による入浴サービスを行いました。（28 年度利用者 延べ 17 人月平均 1.4 人、前年度比 48%）利用料 1 回 100 円は個人負担とした。ホーム利用者の増加に伴い、対象者は現在 1 名となっており、今後についてはヘルパーの活用等により、緊急時の対応に限定され则认为ます。

#### 日中一時支援

家族の冠婚葬祭や急な外出で所定の時間に送迎することが困難な場合、時間を延長して支援した。入浴サービス、外食、特別送迎の提供で緊急時は家族支援にできる範囲で応えました。利用料は利用者の個人負担（7 時 30 分～8 時 45 分、16 時 30 分以降より

30分単位、650円)としています。28年度利用者延べ68名(昨年29名)、96.5時間。前年比107%)介護者の高齢化から、利用人数が増え、緊急時のニーズが高いため、昨年度より増加しています。

## 11. 広報・地域活動・実習

### (1) 広報関係

#### 【広報つぼみの発行】

第2みらいの活動をご家族はもとより、広く関係機関や関係者に理解して頂くために、年2回発行しました。

	号	発行日	部数
1	第22号	6. 17	400
2	23号	1. 27	400

(2) 地域活動として近隣の学校、福祉施設、障害者団体等との交流を図りながら、豊中市啓発活動委員会の企画・運営に参画しています(素のままフェスタ)。また、豊中市みどりの交流会活動の運営・企画に積極的に参加(月1回定例他)し、園芸の育苗活動をともに行う中で各地域との連携を図りました。

### (3) 実習関係

啓発・人材育成・施設サービスの客観性を判断するため実習の受け入れを実施し、前年度に比して約192%となっています。

所属団体	実習目的	人数	日数
一般(問い合わせ)	ボランティア	1	8
大阪保健福祉専門学校	介護施設実習	1	10
大阪城南女子大学	介護施設実習	1	10
京都女子大学	介護施設実習	2	10
社会福祉事業団みのり園	介護実習	1	5
社会福祉事業団みずほ	介護実習	2	1
5団体		8	54

## 12. 苦情解決

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決する窓口として苦情受付担当者を1名配置。苦情は意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けています。利用者、ご家族は日々の連絡帳により施設への意見、要望を伝えていただき、その都度個々及び家族会での報告・掲示板での公表などにより対応してきました。

\*第三者委員会：平成28年7月20日(水)15:00～  
平成29年2月21日(火)14:30～

申請者	苦情内容趣旨	対応
家族	利用者の手にあざがあり、熱をもっていた。気づいていたのならちゃんと処置をして欲しかった。	送迎車到着後、あざを確認。報告を帰宅時に行ったが、家での出来事だろうとの考えから、報告・初期対応が疎かになっていた。原因よりも利用者対応がまず優先すべきことなので初期対応の不備を謝罪。家族会で報告をするとともに掲示板で公表し、今後起こらないように注意喚起した。
家族	帰宅したらズボンの左が大きく破れていた。理由が知りたい。	送迎車に乗り込む前には破れていなかったことを確認。車中でも様子の変化が見られなかったが、下車時の確認はしていなかったため、原因究明できなかったことに謝罪し、今後把握を行なうように説明し了承頂いた。
市民	朝、送迎停留所で園児と待機していたが、利用者が近寄ってきて服を引っ張られた。施設としてこのようなことがあったことを知っておいて欲しい。	謝罪し、対策としてご家族へ説明し、待機場所へはご家族が見守る調整を行なった。また、把握が難しい場合については自宅玄関口までの迎え・送りを添乗スタッフが対応できることも併せ説明。近隣住民へは施設への連絡先を伝え、迅速な対応を行なうことを説明し了承頂いた。

### 13. 職員研修・会議等

#### 【職員研修】

- ・事業計画に基づき、利用者支援関連を中心に人権関係まで幅広い分野を対象に研修実施に努めました。
- ・35件中、大阪府関係5件、大阪府社会福祉協議会関係8件、豊中市関係3件、利用者支援関係15件、防災1件、法人関係2件、その他1件となっています。

期 日	研 修 名 等	主 催	場 所 / 会 場	参 加 者
4. 20 21	新人職員のためのサービス マナー	大阪府社会福祉協議 会	大阪社会福祉 センター	吉見 高尾
4. 22	知的障害者について 支援者が気を付けて欲しい こと	自閉症 e サービス	伊丹杉の子会	高橋 関田 吉見
5. 7 12	問題行動の理解と対応	自閉症 e サービス	西宮総合福祉 センター	高橋 関田
5. 14 15	PECSレベル1 ワークショップ	ピラミッド教育コン サルトオブジャパン	CIVI 新大阪研 修センター	高橋
5. 22 6. 16	困難事例検討1 構造化の応用 困難事例検討2 地域生活支援	自閉症 e サービス	西宮総合福祉 センター	高橋 関田
5. 27	自閉症スペクトラムの特性	自閉症 e サービス	伊丹杉の子会	高橋 関田 吉見
5. 28 他8日間	e-カレッジ 余暇活動ワークショップ	自閉症 e サービス	b o n キッズ 谷町	隅倉 佐藤 吉見
5. 29	発達障害の成人期支援につ いて	自閉症 e サービス	伊丹杉の子会	田村 高橋
6. 1 他3日間	フェローミーティング 人材育成	自閉症 e サービス	b o n キッズ 谷町	高橋
6. 10	感染症・食中毒予防対策講習	大阪府社会福祉協議会	吹田市文化会館	藤井
6. 13 14	サービスマナー（初級）	大阪府社会福祉協議 会	大阪社会福祉 センター	吉見

6. 18	親亡きあとも豊かな生活をおくるために	自閉症 e サービス	b o n キッズ 谷町	関田
6. 24 他 4 日間	伊丹杉の子実践報告会	伊丹杉の子会	伊丹杉の子会	高橋 関田
6. 26	より良き支援者を目指して	自閉症 e サービス	西宮市文化会館	高橋 関田
6. 30 7. 15	障害児者施設課程（通所）	大阪府社会福祉協議会	大阪社会福祉セ ンター	原武
7. 18	かかわり方の技術	自閉症 e サービス	b o n キッズ 谷町	池上 出口
7. 26 他 2 日	個別相談援助技術	大阪府社会福祉協議会	大阪社会福祉セ ンター	吉見
8. 9 他 2 日	サービス管理責任者研修	大阪府社会福祉事業団	ドーンセンタ ー他	武内
8. 19 他 1 日	大阪府強度行動障害支援者 養成研修	大阪府障害者自立相 談センター	ドーンセンタ ー他	中村
8. 23 他 2 日	自立課題の作成・実施	自閉症 e サービス	b o n キッズ 谷町	隅倉
8. 31	福祉レクリエーション研修	大阪府 社会福祉協議会	大阪社会福祉 指導センター	田畑
9. 6 他 1 日	職員留学	豊中施設長会	みずほ・おおぞ ら	富永
10. 14	防災研修	豊中市	豊中北消防署	隅倉
10. 25 他 1 日	相談支援初任者研修	大阪府社会福祉事業団	ビックアイ他	高橋 武内
11. 2	人権研修	大阪府 社会福祉協議会	大阪社会福祉 指導センター	原武
11. 8	基礎研修	自閉症 e サービス	伊丹杉の子会	山田 高尾
11. 22	職員留学成果発表会	豊中施設長会	あすなろ	14名
12. 2	虐待防止・権利擁護研修	大阪府	クレオ大阪	田村
12. 5 他 2 日間	大阪府強度行動障害支援者 実践研修	大阪府障害者自立相 談センター	ドーンセンタ ー	中村

12.9	法人全体研修会「人権研修」	豊中親和会	みらい	15名
1.18	支援校実践交流会	豊中支援学校	豊中支援学校	田村 西尾
2.6	まちづくりガイドライン	大阪府 社会福祉協議会	大阪社会福祉 指導センター	前田
2.14	性の悩みを考える	豊中市手をつなぐ育成会	センターひま わり	小橋 山田
2.17	特性から考える支援の考 え方（法人全体研修）	サービス向上委員会	第2みらい	14名
3.18	「実践報告会」	自閉症eサービス	サポートセン ター杉の子	関田

### 【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（管理者・主任）
職員会議	12	毎月第1木曜日（管理者、職員）
ケース会議	12	毎月第3木曜日（管理者、職員）
リーダー会議	42	毎週水曜日（主任、リーダー職員）
給食会議	12	毎月1回（管理者、担当職員）

\*その他

所属長会議（管理者）、市内施設長会議（管理者）

サービス向上委員会（主任他）、家族会6回

「虐待防止委員会」2回、「第三者委員会」2回